

国連 NGO/NPO 法人 子どもの権利条約総合研究所

2020 年度研究総会のご案内

研究総会は、研究所の定期総会に合わせて例年 5 月に開催していましたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、2020 年度は、7 月 12 日にオンラインで定期総会のみ先行して開催し、研究総会の開催日時・開催方法を慎重に検討してまいりました。検討の結果、新型コロナウイルスの問題状況に改善が見られず、参加者の皆様の安全を確保できないと判断し、研究総会についてもオンラインによる開催といたします。

今回の研究総会は、東洋大学福祉社会開発研究センターとの共催で、「ICT（情報通信技術）と子どもの権利」をテーマに、まず、国連子どもの権利委員会の一般的意見 25 号（デジタル環境との関連における子どもの権利）やユニセフ報告書『つながる世界で成長する私たち』等を示されるデジタル環境における子どもの権利の尊重と促進に関する指針を踏まえた上で、韓国・台湾・日本から、ICT と子どもをめぐる現状について報告をいただき、デジタル環境における子どもの権利の尊重と促進のために、リスクを最小限に抑え、利益を最大限に活かすためにはどのような配慮や支援が行われているか、また今後の課題について、相互に学び合い考えていきたいと思っております。

テーマ：ICT（情報通信技術）と子どもの権利—韓国・台湾・日本の取り組み

日時：12 月 6 日（日）13 時 00 分～16 時 00 分

会場：東洋大学白山校舎 8 号館 7 階特別会議室（※関係者のみ、シンポジウム参加者はオンライン（zoom を利用）で参加。

主催：国連 NGO/NPO 法人・子どもの権利条約総合研究所

共催：東洋大学福祉社会開発研究センター

●公開シンポジウム

〔開会挨拶〕 荒牧 重人（子どもの権利条約総合研究所代表）
金子 光一（東洋大学福祉社会開発研究センター長）

〔基調報告〕 平野 裕二（子どもの人権連代表委員）
デジタル環境と子どもの権利をめぐる国際的動向
—国連・子どもの権利委員会の議論を中心として—

〔韓国からの報告〕

報告者：ベ・サンリユル（韓国青少年策研究員青少年メディア研究センター長）
通訳：金ヒョンウク（ソウル市人権擁護官）

〔台湾からの報告〕

報告者：ペギー・ペイチュン・リン（林沛君）（台湾・東呉大学 助理教授）
通訳：鄭又璋（フリーランス通訳）

〔日本からの報告〕

報告者：半田 勝久（日本体育大学准教授）

〔質疑・討論〕

〔まとめ〕 森田 明美（東洋大学福祉社会開発研究センター子どもサブユニット長）

- ・コーディネーター：野村武司（東京経済大学教授、弁護士）
内田塔子（東洋大学准教授 同福祉社会開発研究センター研究員）

※使用言語は、日本語です。韓国・台湾からの報告には、通訳が入ります。

【公開シンポジウムへの参加申込】

今年度は、オンラインによる開催となりますので、事前に参加申込をしていただき、申込をされた皆様に、公開シンポジウム前日までに、オンライン URL と当日資料を配信いたします。以下の申込フォームから、①お名前 ②ご所属 ③メールアドレスをお知らせください。

申込フォーム URL : <https://forms.gle/1GJSEBAJhRZWjM1T8> (右 QR コード)

申込締切 : 11 月 28 日 (土)



●研究報告（研究所研究員・特別研究員による）

当初、研究報告は公開シンポジウムの前日に東洋大学を会場にして実施予定でしたが、研究報告についてもオンラインによる開催とし、公開シンポジウム同日の午前中に実施することとします。

日時 : 12 月 6 日 (日) 10 時 00 分～12 時 00 分

会場 : オンライン (zoom を利用)

司会 : 半田勝久 (日本体育大学) ・加藤悦雄 (大妻女子大学)

発表時間 : 報告 20 分 + 質疑 10 分

【研究報告の発表申込】

発表を希望される研究員・特別研究員の方は、以下の申込フォームから、①発表者名 ②発表者のご所属 ③報告タイトルをお知らせください。研究報告の要旨は、『子どもの権利研究』第 32 号に掲載されます。今年度は『子どもの権利研究』の原稿締切までの時間的余裕がありません。大変恐縮ですが、発表者の皆様には、報告内容の事前の原稿化にご協力くださいますようお願いいたします。

申込フォーム <https://forms.gle/Mwp4ygNTuhSApNHSA> (右 QR コード)

申込締切 : 11 月 14 日 (土)



【ご質問その他】

子どもの権利条約総合研究所事務局 (E-mail : npo_crc@nifty.com) まで。

／以上